

3類型	農林水産物	通巻番号	5-21-002
地域資源名	朝宮茶	認定日	平成21年7月1日
地域	滋賀県甲賀市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：自然回帰農法による「朝宮茶」を使用した信楽高原紅茶の開発と販売

会社名：かたぎ古香園
 連絡先：TEL：0748-84-0135
 FAX：0748-84-0128

所在地：滋賀県甲賀市信楽町宮尻1090
 H P：http://www.katagikoukaen.com

事業概要(新たな活用の視点)

- ・近江朝宮地域は、1200年に及ぶ歴史を有する日本最古の茶産地であり、朝宮茶は認知度はないものの、最高級茶葉として扱われてきた。当園は消費者の安全のため、約30年前から特別栽培農産物としてお茶の栽培・販売を行ってきた。
- ・近年、日本茶の需要は拡大しているが、1番茶を摘み取った後の夏場の2番茶はやや渋みが強く味が悪いなどのため、売上は拡大しておらず、その対策が課題となっている。
- ・本事業では、高品質の朝宮茶の2番茶を活用し、国産紅茶を開発・販売する。

なお、紅茶は緑茶とは製造過程が異なるだけで、緑茶用の茶葉を使つての製造は可能である。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・当地は、高地にあり、寒暖の差が大きく、霧が発生しやすいなど良い茶葉を生産する条件下にある。
- ・また、ウンカにより食刺され醗酵した茶葉を積極活用することで、渋みが少なく甘みのある紅茶の製造ができる。

◆市場性

- ・紅茶の国内市場は年々拡大しており、また、ペットボトルの飲料から本物志向へ移行する可能性があることから、茶葉の購入につながると期待される。

◆販路

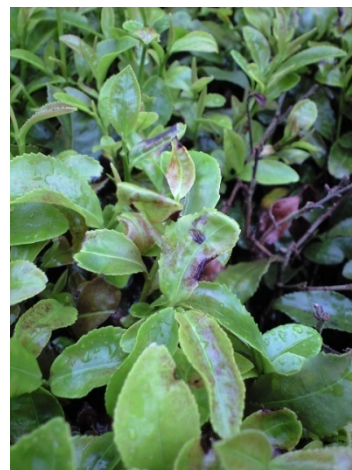
- ・「いい食品を作る会」での展示会、百貨店での催事等への参加から始め、首都圏有名百貨店、高級スーパーなどでの販売につなげる。最終的には紅茶の輸出の再開という大きな目標を持っている。

地域資源における関係事業者との連携

- ・本事業への取り組みの結果、その成果を地域の茶園に広く情報公開することで、協働による事業の拡大、地域の復興を目指したい。



【高品質の朝宮茶(やぶきた種)】



【ウンカに食刺され醗酵した茶葉】